

常設展評価シート

施設名	大阪城天守閣	展覧会名	(3階常設展) 武将たちの生きざま
-----	--------	------	-------------------

概要・実績	目的	最近、戦国時代に生きた武将たちの生き方に注目が集まっている。強さ、指導力、勇敢さ、忠義心、信念など「資質」にあふれた武将だけでなく、冷酷で謀略に明け暮れた武将、善悪両面が表裏一体の武将など、ひとくせある生き方に魅力を感じる方も少なくない。今回の展示では、大阪城天守閣収蔵の資料を駆使し、彼らを含めた有名無名さまざまな武将たちの「生きざま」に注目する。				
	会期	平成24年1月27日～3月2日 ※LED工事により期間短縮		会期 36日間		
	主催	大阪城天守閣				
	共催・後援	なし				
	協賛・助成	なし				
	観覧料	600円 (通常料金)	無料対象者	中学生以下および市内在住65歳以上		
	観覧者総数	97,866人	有料入場	81,916人	(83.7%)	
	作品件数	71点	うち、借用	なし (ただし寄託品13点あり)		
	関連事業	なし				
	企画・実施	主任学芸員 宮本裕次				
成果	入場者の関心が高い戦国時代の歴史資料を取り上げ、効果的な配置や小テーマの設定提示による動機づけを行い、通史的展示とは異なる手法で当時に生きた武将の「生き方」を浮かび上がらせた。また古文書・絵画・工芸品 (武器武具を含む) など、多彩な資料を駆使することにより、来館者の多様なニーズに応えることができた。					
補足事項						

常設展評価シート

施設名		大阪城天守閣	展覧会名		(3階常設展) 武将たちの生きざま				
定量評価	入場者数		予算	外部資金	総事業費	観覧料収入	その他収入	収入合計	図録販売数
	実績	97,866人				41,750,130			334
	達成率								
定性評価	実績・伝統の継承と新たな魅力創出	評価点	<p>・学芸員が精力的に調査研究活動を行い、その成果を展示、講演やイベントへの参画など多様な方法により積極的に公開している。また、スタッフの努力により年末年始を除き、年間を通じて開館している。この努力により、大阪を初めて訪問し、天守閣が博物館であることを知らなかった観光客から豊臣氏、大阪城に強い関心をもつコアな層まで幅広い層に、高い満足度を与える施設となっている。大阪を代表する文化施設・観光施設となり、大阪のシンボル機能を十二分に果たしていることを高く評価する。</p> <p>・豊臣秀吉と大阪城に関する資料を永年にわたって精力的に収集し、大阪城天守閣博物館に相応しい資料を多数所蔵する博物館になっていることを評価したい。よく知られた資料も多く、ヴァラエティ豊かな展示を可能にしている。優れた資料を収集してきた学芸員の能力と見識を評価したい。</p>						
		改善点	<p>・熟達したスキルと能力をもつ学芸員その他のスタッフの存在が館活動を支えている。今日、我が国では、多くの組織が余裕を失い、人材育成機能が脆弱になっている。博物館にとって、人材は重要な資産である。スキルと能力が継承されるように、人材育成に引き続き取り組むことを期待する。</p> <p>・大阪を代表する施設として各方面からフル稼働が期待されており、館と館のスタッフは、その期待によく応えてきている。今後、施設の老朽化等に伴い、施設や館蔵品のメンテナンス等の必要が生じてくるものと考ええる。その際には、新たな休館日を設ける必要がでてこよう。施設や館蔵品のメンテナンス上のような措置が今後必要になるかについて十分検討し、適切な対応をとってほしい。</p>						
	さまざまな来館者への対応	評価点	<p>・国内外の多種多様な来館者のニーズに応えることができるように、永年にわたる努力により館内の至るところに様々な仕掛けが施されている。完成度が高い仕掛けではあるが、その改善についても熱心に取り組んでいることを評価する。</p> <p>・多くの入館者が来館する博物館であるにもかかわらず、熱心に来館者調査を実施し、調査結果を博物館の改善に利用していることは、大阪城天守閣の良き伝統であり、力の源である。今後も、この姿勢を維持・発展させてほしい。</p>						
		改善点	<p>・博物館の常設展示・テーマ展示は、2か月を単位に一新されており、何度来ても、常に新鮮さを失わず、観覧者のもつ知識がひろげることができている。展示が更新されていることを入館者に更に周知し、ヘビーユーザーを育成することを期待する。そのため、割引回数券などの対応も考えられる。</p> <p>・年間を通じて国内外の多数の入館者が訪問する博物館であることから、地震その他の災害時の入館者の安全確保は極めて重要な課題である。災害時の安全確保策の定期的見直しと安全確保策が着実に実行できるよう態勢の一層の整備を期待する。</p>						

常設展評価シート

連携による 総合力の 発揮	評価点	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示についても、寄託品、他館の資料を有効に活用して、奥行きのある展示を実現したことを評価する。同じ歴史系の大阪歴史博物館との連携がより多角的になっていくことを期待する。 大阪城公園のイベント等に積極的に参加し、大阪城の理解者を増やし、博物館の新たな観客を開拓していることを評価する。
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> 歴博との共通入館券は良い企画であるが、定着するには時間を要する。2～3年間のスパンで継続的なプロモーションを行ってほしい。大阪城天守閣の入館者への歴博の周知がどれだけできるかが成功の決め手になると思われる。歴博の展示内容の周知とともに、歴博から見る大阪城の素晴らしさを周知してほしい。 大阪城天守閣の良さを維持・発展させるためには、外部の機関・団体との連携と大阪城天守閣のサポーターの組織化が不可欠である。外部との連携を促進する組織の充実を期待する。
ニーズに 即し効率 的な事業 展開	評価点	<p>戦国時代あるいは戦国武将に対する来館者の関心は高く、多彩な資料を駆使してその関心に応えることができた。アンケートなどを参考としつつ、大阪城天守閣にふさわしい、来館者の好奇心を刺激する展示をこれからもめざしたい。</p>
	改善点	<p>頻繁な展示替えにより事前広報の期間が短い。メディアなどへの機動的・効果的な発信方法を模索することにより克服を図っていききたい。</p>

総評	評価点	<ul style="list-style-type: none"> 関西・大阪を代表する観光施設という面と豊臣氏と大阪城について入館者の興味と関心に応じて学ぶことができる博物館という2つの面を見事に両立させている、希有な施設である。初めての訪問者であっても、リピーターであっても、高い満足度を得ることができる空間となっている。実物資料や各種の解説資料も豊富で、資料を通して学習する場になっている。 実物資料をベースにした、極めてストーリー性の高い展示を、2か月毎に、休館日なしに更新していることに敬意を表する。
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> 3階、4階の常設展示、テーマ展が2か月毎に更新されていることをもっと効果的に周知してほしい。また、更新期間や展示内容からみて、他の歴史系博物館の常設展示とは異なる面が多い。常設展示という名称を、他館との相違を表すものにする 것도検討してほしい。 既に多くの外国人が訪問している施設ではあるが、今後、更にアジア諸国からの観光客が来場することが予想される。外国からの訪問者に、日本の歴史と文化を理解してもらうための一大拠点として更に充実を図っていくことを期待する。